

演題:「心原性失神が疑わしい一例」

喜界徳洲会病院 初期研修医
宇治徳洲会病院二年次 上田 一輝

【演題】 心原性失神が疑わしい一例

【症例】 失神やけいれんの既往のない自立した 67 歳女性。2016 年 10 月 20 日に手掌挫傷を主訴に外来受診した。車が横転する様な事故の運転手であり、事故した瞬間の記憶は全くないが、失神後は後部座席に乗っていた母を救出できるほど意識レベルは改善していたよう。各種検査施行したが、心電図でも PVC 連発を拾えたのみではっきりとした原因はみつからず、結局のところ病歴から心原性失神の可能性が高いとして、精査加療目的で地元の病院に転院となった。